

米に関するマンスリーレポート

(平成24年12月7日公表)

【お知らせ】

（社）米穀安定供給確保支援機構が公表している「米の消費動向調査結果」において、「家庭内の月末在庫数量」及び「精米購入・入手経路別の購入数量」が新たに掲載されるようになったことから、Ⅲ-（５）に追加して掲載しております。

【本資料の目的】

「米に関するマンスリーレポート」は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理し、毎月定期的に公表することによって、需給動向を適切に反映した米取引に資することを目的としています。

【利用上の注意】

1. 「米に関するマンスリーレポート」は、今後、必要に応じて項目の追加・削除などの内容を変更することがあります。
2. 本レポートは、原則として公表２営業日前までの公表資料を反映しています。
3. 本資料に関する問い合わせ先

生産局農産部農産企画課
担当者：岩井、島本、鬼海
代表：03-3502-8111（内線4975）
ダイヤルイン：03-6738-8973
FAX：03-6738-8976

目 次

I	米取引関係者の判断（米穀機構による調査、平成24年11月）	1
II	集出荷・卸段階の動向	
	（1）相対取引価格・数量	6
	① 相対取引価格（主な産地銘柄別、平成24年10月）	
	② 相対取引価格の推移（主な産地銘柄別、平成24年産米）	
	③ 相対取引価格（年産別）	
	④ 相対取引数量（累積数量、主な産地銘柄別、平成24年10月）	
	（2）民間在庫の推移	9
	① 出荷段階	
	② 販売段階	
	（3）米の先物取引価格の推移	11
	（4）業者間取引の状況	12
	① 日本コメ市場（随時取引の結果）	
	② 日本コメ市場・クリスタルライス（取引会の結果）	
	（5）(株)加工用米取引センターの取引結果	13
III	小売・消費段階の動向	
	（1）消費者物価指数の推移	14
	（2）小売物価統計の推移	15
	（3）小売価格の推移（POSデータ）	16
	（4）購入数量の推移（家計調査）	17
	（5）米の消費動向（米穀機構による調査）	18
IV	生産段階の動向	
	（1）国産米（水稻）の作況・収穫量	22
	（2）平成24年産水稻の作柄概況（10月15日現在）	22
	（3）加工用米及び新規需要米の取組状況	24
	① 加工用米の生産量	
	② 新規需要米の用途別認定状況	
	（4）水稻うるち玄米の検査結果	25
	① 検査数量及び等級比率（年産別）	
	② 水稻うるち玄米の1等比率の推移	
V	民間流通における6月末在庫の推移	26
VI	備蓄米及びMA米の動向	
	（1）国内産備蓄米の売買数量及び在庫数量	27
	① 24年産国内産米穀の政府買入入札の結果	
	② 国内産備蓄米の売渡数量	
	③ 政府備蓄米の在庫の状況（平成24年6月末現在）	
	④ 23年産米の特別隔離対策等による米の供給減少分の代替供給量	
	（2）MA米（一般・SBS）の動向	29
	① MA米の輸入数量（輸入先国別及び輸入方式別）	
	② 一般輸入米（加工原材料用）の販売状況（平成24年度）	
	③ SBS米の販売状況（平成24年度）	

I 米取引関係者の判断(米穀機構による調査、平成24年11月)

○ 米取引関係者に対して、需給動向や価格水準などの取引動向に関するアンケートを実施し、その結果をD Iとして算出したものである（詳細はP 5）を参照。

1. 国内の主食用米の需給及び価格動向に関する判断（全体）

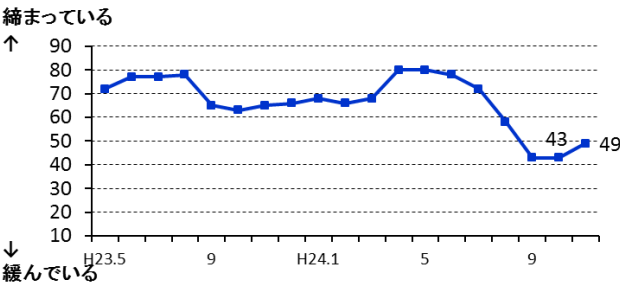
①主食用米の需給動向

（ア）現状判断D I
前月からの増減 +6 （今月の数値 49）

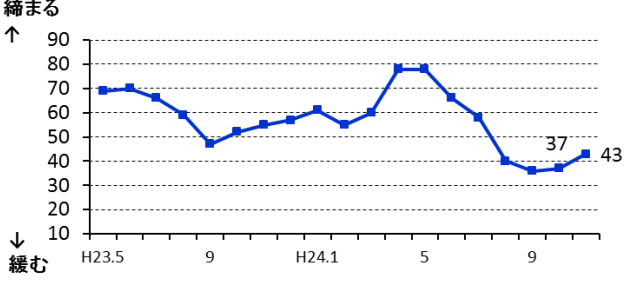
（イ）見通し判断D I（向こう3ヶ月）
前月からの増減 +6 （今月の数値 43）

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「締まっている」/「(将来)締まる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「緩んでいる」/「(将来)緩む」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

①-ア 国内の主食用米の”現在の需給動向”について、どう考えていますか。(全体)



①-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の需給動向”について、どうなると考えていますか。(全体)



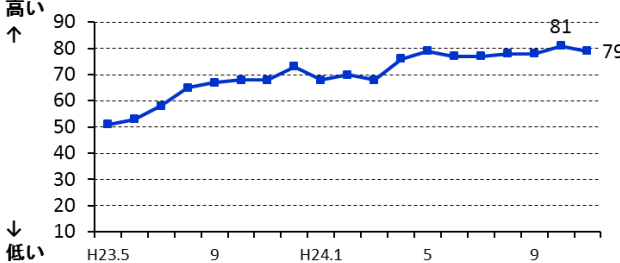
②主食用米の米価水準

（ア）現状判断D I
前月からの増減 -2 （今月の数値 79）

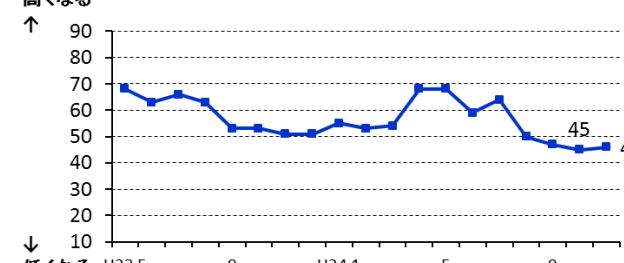
（イ）見通し判断D I（向こう3ヶ月）
前月からの増減 +1 （今月の数値 46）

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、米価水準が高い/米価水準が高くなるという見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、米価水準が低い/米価水準が低くなるという見方が前月より強くなった傾向を示す。

②-ア 国内の主食用米の”現在の米価水準”について、どう考えていますか。(全体)



②-イ 国内の主食用米の”向こう3ヶ月の米価水準”について、”現時点と比較”してどうなると考えていますか。(全体)



③ 取引関係者が①及び②の判断を行うに当たり、主に考慮した要因

	作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の調達 状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他
H23.5	3%	33%	12%	-	17%	7%	28%
H23.6	5%	38%	8%	-	20%	8%	20%
H23.7	7%	34%	11%	-	12%	8%	28%
H23.8	14%	28%	7%	-	19%	7%	25%
H23.9	22%	23%	4%	-	23%	7%	21%
H23.10	22%	23%	3%	-	27%	6%	19%
H23.11	14%	18%	3%	-	34%	10%	21%
H23.12	8%	11%	2%	46%	22%	3%	8%
H24.1	6%	14%	3%	48%	19%	2%	8%
H24.2	4%	17%	2%	48%	20%	3%	6%

	作柄	国内の 在庫水準	国の政策	米穀の調達 状況	消費者の 動向	競合商品の 販売動向	その他
H24.3	2%	14%	4%	54%	18%	2%	6%
H24.4	2%	9%	2%	69%	8%	5%	6%
H24.5	2%	13%	4%	66%	8%	4%	2%
H24.6	1%	15%	3%	61%	9%	6%	6%
H24.7	4%	22%	1%	62%	3%	3%	5%
H24.8	20%	10%	2%	46%	12%	3%	6%
H24.9	30%	4%	0%	44%	11%	4%	6%
H24.10	20%	10%	3%	40%	19%	6%	2%
H24.11	11%	11%	3%	49%	16%	7%	3%

2. 自社の取引状況に関する判断(業態毎)

①主食用米の販売数量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「増えた」/「(将来)増える」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「減った」/「(将来)減る」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の販売数量に関する現状判断 D I

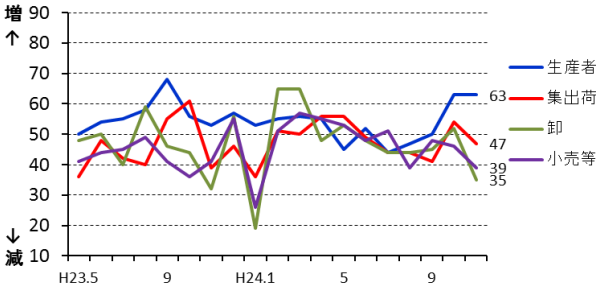
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	± 0	(今月の数値	6 3)
集出荷：前月からの増減	－ 7	(今月の数値	4 7)
卸：前月からの増減	－ 1 7	(今月の数値	3 5)
小売等：前月からの増減	－ 7	(今月の数値	3 9)

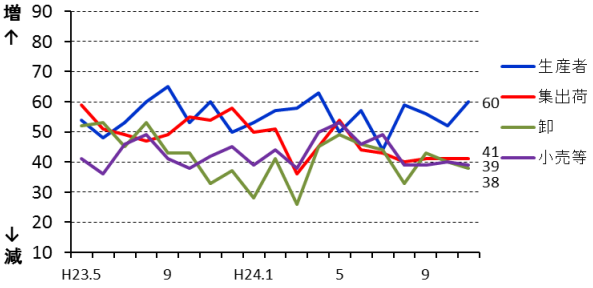
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	＋ 8	(今月の数値	6 0)
集出荷：前月からの増減	± 0	(今月の数値	4 1)
卸：前月からの増減	－ 2	(今月の数値	3 8)
小売等：前月からの増減	－ 2	(今月の数値	3 9)

①-ア-a 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”先月と比較”するといかがですか。



①-ア-b 貴社の”今月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の販売数量に関する見通し D I

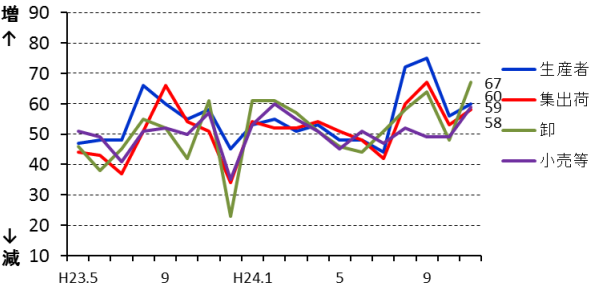
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	＋ 4	(今月の数値	6 0)
集出荷：前月からの増減	＋ 5	(今月の数値	5 8)
卸：前月からの増減	＋ 1 9	(今月の数値	6 7)
小売等：前月からの増減	＋ 1 0	(今月の数値	5 9)

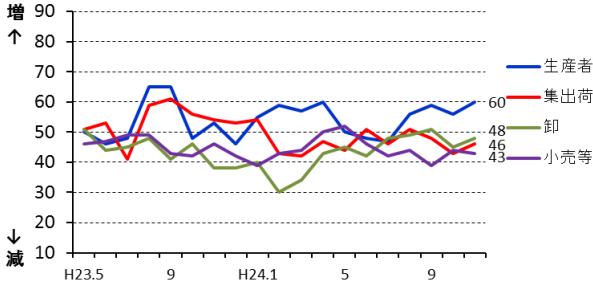
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	＋ 4	(今月の数値	6 0)
集出荷：前月からの増減	＋ 3	(今月の数値	4 6)
卸：前月からの増減	＋ 3	(今月の数値	4 8)
小売等：前月からの増減	－ 1	(今月の数値	4 3)

①-イ-a 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”今月と比較”してどうなると考えていますか。



①-イ-b 貴社の”来月”の主食用米の”販売数量”について、”前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



②主食用米の価格

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「高くなった」/「(将来)高くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「低くなった」/「(将来)低くなる」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の価格に関する現状判断 D I

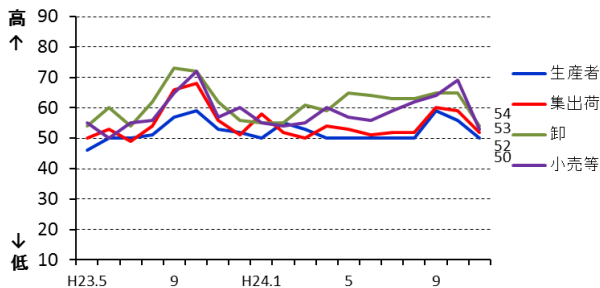
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	－6	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	－7	(今月の数値	52)
卸：前月からの増減	－11	(今月の数値	54)
小売等：前月からの増減	－16	(今月の数値	53)

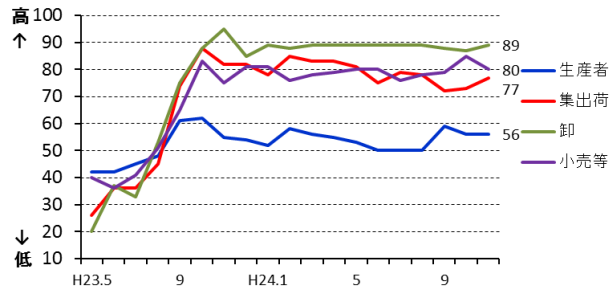
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	±0	(今月の数値	56)
集出荷：前月からの増減	＋4	(今月の数値	77)
卸：前月からの増減	＋2	(今月の数値	89)
小売等：前月からの増減	－5	(今月の数値	80)

②-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“先月と比較”するといかがですか。



②-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”するといかがですか。



(イ) 来月の価格に関する見通し D I

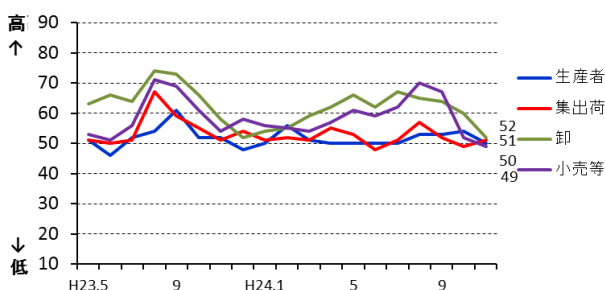
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	－4	(今月の数値	50)
集出荷：前月からの増減	＋2	(今月の数値	51)
卸：前月からの増減	－8	(今月の数値	52)
小売等：前月からの増減	－3	(今月の数値	49)

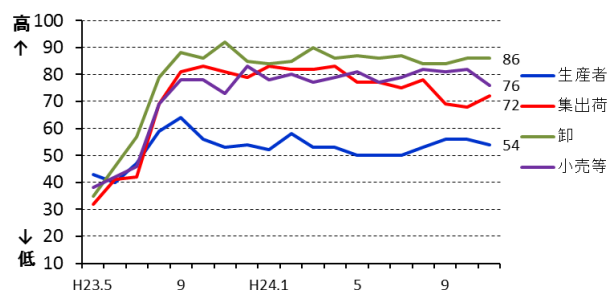
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	－2	(今月の数値	54)
集出荷：前月からの増減	＋4	(今月の数値	72)
卸：前月からの増減	±0	(今月の数値	86)
小売等：前月からの増減	－6	(今月の数値	76)

②-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



②-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“価格”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



③主食用米の在庫量

※ 当月の数値が前月と比較し100に近づけば、「多くなった」/「(将来) 多くなる」という見方が前月より強くなり、反対に0に近づけば、「少なくなった」/「(将来) 少なくなる」という見方が前月より強くなった傾向を示す。

(ア) 今月の在庫量に関する現状判断 D I

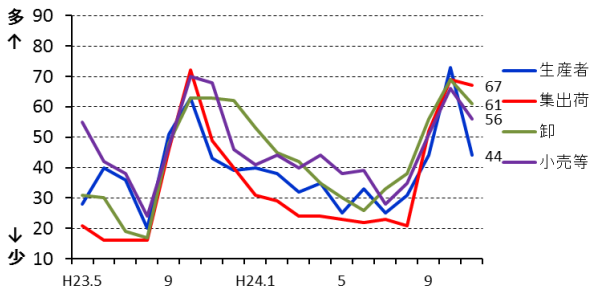
a. 先月との比較

生産者：前月からの増減	－ 2 9	(今月の数値	4 4)
集出荷：前月からの増減	－ 2	(今月の数値	6 7)
卸：前月からの増減	－ 8	(今月の数値	6 1)
小売等：前月からの増減	－ 1 0	(今月の数値	5 6)

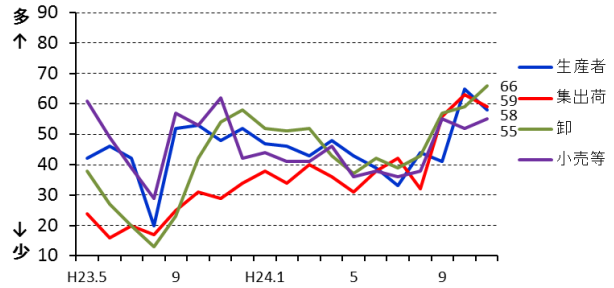
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	－ 7	(今月の数値	5 8)
集出荷：前月からの増減	－ 4	(今月の数値	5 9)
卸：前月からの増減	＋ 7	(今月の数値	6 6)
小売等：前月からの増減	＋ 3	(今月の数値	5 5)

③-ア-a 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”について、“先月と比較”するといかですか。



③-ア-b 貴社の“今月”の主食用米の“在庫量”は、“前年同月と比較”するといかですか。



(イ) 来月の在庫量に関する見通し D I

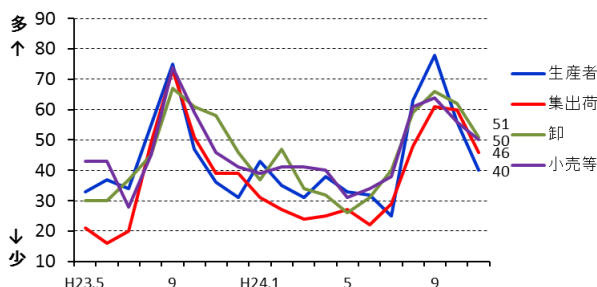
a. 今月との比較

生産者：前月からの増減	－ 1 6	(今月の数値	4 0)
集出荷：前月からの増減	－ 1 4	(今月の数値	4 6)
卸：前月からの増減	－ 1 1	(今月の数値	5 1)
小売等：前月からの増減	－ 6	(今月の数値	5 0)

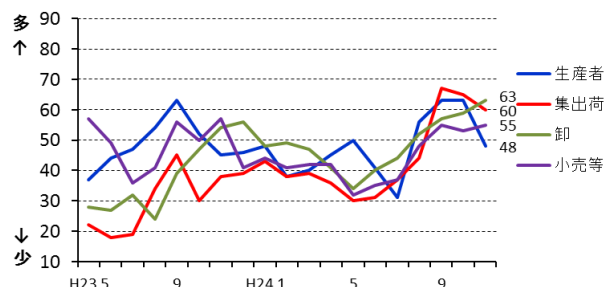
b. 前年同月との比較

生産者：前月からの増減	－ 1 5	(今月の数値	4 8)
集出荷：前月からの増減	－ 5	(今月の数値	6 0)
卸：前月からの増減	＋ 4	(今月の数値	6 3)
小売等：前月からの増減	＋ 2	(今月の数値	5 5)

③-イ-a 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“今月と比較”してどうなると考えていますか。



③-イ-b 貴社の“来月”の主食用米の“在庫量”について、“前年同月と比較”してどうなると考えていますか。



《アンケート方法等》

○調査期間：毎月１日から２５日までの取引状況を踏まえて回答

○調査方法：電子メールを利用したアンケート調査

○調査対象者：全国の生産者、集出荷業者、卸・小売業者等の１５４客体

○有効回答数：１２７客体

生産者・・・・・・・・・・・・・１２
集出荷業者／団体・・・・・・・・・・２９
卸売業者（主に主食用米）・・・・２９
小売業者／中食・外食関係業者・・３９
その他・・・・・・・・・・・・・１８

※「その他」は以下の業者を示している。
・米穀の販売の事業を行う者のうち、主に加工原材料の卸売の事業を行う者
・加工原材料米穀を使用し、加工食品（酒類を含む）を製造・販売する者

《利用上の注意》

○表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、計と内訳は一致しないことがある。

《ＤＩの算出方法》

米の需給動向・価格水準などに関する現状、または先行きに対する５段階の判断（評価）にそれぞれ点数（評価点）を与え、これらを各回答区分の構成比（％）に乗じてＤＩを算出。

ただし、ＤＩの推移は、変化の方向性を示すものであり、その変化の大きさ（量感）を表すものではない。例えば、大幅であろうが小幅であろうが、上昇するといった見方をする者の構成比が同じであれば、同じＤＩが算出されることに注意が必要である。

（ＤＩの算出例）

問：国内の主食用米の“向こう３ヶ月の米価水準”について、“現時点と比較”してどうなると考えていますか。

	高くなる	やや高くなる	同程度	やや低くなる	低くなる
評価点(A)	＋１	＋０. 75	＋０. 5	＋０. 25	０
構成比(B)	17. 8	20. 0	20. 0	22. 2	20. 0
各DI(C=A×B)	17. 8	15	10	5. 6	0
DI(合計)	48. 4				